

事例紹介

ふるさと雇用再生 特別基金事業

【農林漁業分野】

「秋田県では、県内のグリーン・ツーリズムを元気にするため、ホームページでの情報発信、農林水産物直売所での商品開発と売り込み、体験受入のサポートなどグリーン・ツーリズムを活用し地域活性化を進めるため6団体計10名での雇用を行っています。

秋田花まるっグリーン・ツーリズム推進会でも3名の現地特派員を雇用し、秋田の農山村の魅力をお伝えしています。彼女達の成長を期待すると同時に、皆様の応援をよろしくお願いします」

(特派員の活躍は「秋田花まるっ元気通信」で検索してみてください)



秋田花まるっグリーン・ツーリズム推進協議会事務局の藤原さん

○委託先

- ①事業概要
- ②業務内容と新たな雇用創出数

- 秋田花まるっグリーン・ツーリズム推進協議会 -- 3名
 - ①秋田県のグリーン・ツーリズムの窓口、実践者のとりまとめ
 - ②旬な情報をホームページで発信する特派員
- 陽気な母さんの店友の会（大館市） -- 各1名計3名
 - ポルター大潟野菜グループ（大潟村）
 - ナチュラルスタンスクラブ（大仙市）
 - ①農林水産物直売所
 - ②グリーンツーリズム企画を行う店長候補
- NPO田沢湖ふるさとふれあい協議会 -- 2名
 - ①体験型学習旅行を受け入れている地域協議会
 - ②学習旅行の受入サポート、産直ネットづくり
- （株）わらび座 -- 2名
 - ①体験型学習旅行を受け入れている民間企業
 - ②100%県内産地ビール、グリーン・ツーリズムの実践

秋田県



地域雇用失業情勢

(事業開始時点の有効求人倍率)

秋田県 0.32倍(季節調整値)



新規雇用者と委託先の皆さん

事業費

約2,216万円(平成21年度)

事業の開始

平成21年9月～



元気にします！秋田のグリーン・ツーリズム

今後の姿と課題

この事業は、私たちが手をつけようとして、行えなかったソフト面をカバーするものです。二人ともまだまだ勉強中ですが、元気があり意欲的に取り組んでいるので期待大です。

修学・学習旅行も、セオリー通り普及、育成、そして強化、これからは本番、全国の土俵の上でがんばろう秋田県！
NPO法人田沢湖ふるさとふれあい協議会
理事長 田口 久義さん

元気な地場産野菜をアピール中、パワーも一緒に販売中～す。
(こーばあ)

ポルダール大瀧野菜グループ



毎朝の朝礼、やってます。こっちが緊張します。
(ほんださん)

陽気な母さんの店友の会



NPO法人田沢湖ふるさとふれあい協議会

子供たちに囲まれあそばれています。
(元ちゃん)



小学生と共に汗を流し、おばあちゃんから料理を教わりました。毎日の出会いに感謝！(けこ)

いつも秋田の“奥深さ”に圧倒されています。まだまだ行きますよ！(やつつ)

毎日新鮮な野菜に囲まれて、身も心もフレッシュです！
(すずき)

子どもたちとの交流を楽しむ農家さんの姿に感激です。
(ゆかり)

農業体験や米の産直など、毎日が新しい仕事で新鮮です。(あわっち)



直売所やイベント取材時の食べ歩きを通じ、「人間の原点って本当に食なんだな」と実感する日々です
(よどぎみ)

秋田花まるっグリーン・ツーリズム推進協議会

特派員の報告は当会ホームページ「秋田花まるっ元気通信」に掲載中！(^o^)



ナチュラルスタンスクラブ



本気でやれば本気で返ってくる、交流の凄さに日々感動！
(タケル)

(株)わらび座

事例紹介

ふるさと雇用再生 特別基金事業

【農業振興分野】

これからの農業のあるべき姿は、地元の食材を見直し、安全でおいしい作物を作り、その作物の付加価値を高めるため加工し、直売することです。それが、農業の振興と6次産業化につながっていくと考えています。



株式会社フードデザイン 代表取締役 佐藤 英吉さん

事業概要

経済都市郡山市の中心市街地の空き店舗をアンテナショップとして開設し、当地域の求職者を雇い入れ、雇用機会を創出しながら、県中地方の品質的に優れていながらあまり知られていない農産加工品等を、広く紹介・販売することにより農業振興を図る。

福島県

郡山市



委託先

株式会社フードデザイン

新たな
雇用創出数

4人

事業費

約1,516万円(平成21年度)

事業の開始

平成21年5月～

地域雇用失業情勢

(事業開始時点の有効求人倍率)

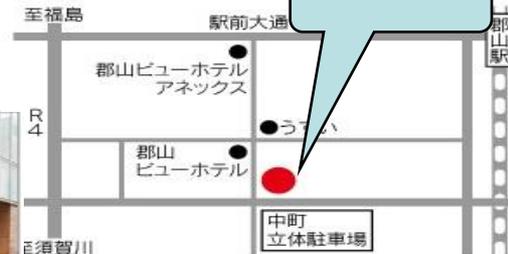
福島県 0.35倍(季節調整値)
郡山管内 0.36倍(原数値)

業務内容

【農産加工品アンテナショップ「逸品市場」】

・県中地方を中心とした県内産農林水産物の加工品を紹介し、販売することで、農林水産業の振興を図る事業

場所はここ！



事業の公募

事業の目的を示した上で事業企画を公募。提出された運営企画事業提案書を業務内容の理解度、提案内容の実効性、業務遂行の確実性、集客体制、予算の妥当性などの観点で審査し、委託契約を結び事業展開している。



《「店の外観

全面ガラスの明るい店内！》

スタッフの
みなさん



○地産地消にこだわり、地元で作ったものを地元で加工することで、より安心して食べることができます。

地元産農林水産物の加工品をより多くの人に知ってほしいと思っています。

○農商一体による中心市街地活性化をめざしていきます。

○生産者と消費者の架け橋になりたい。

お客さまから
の声

福島県産の農産加工品なので安心・安全な食品が手軽に手に入るの嬉しいです。

生産者の
声

商品はすべて手づくり。だから品質には自信があります。どこで、誰が、どんなふうに使っているかがわかると安心につながりますよね。「逸品市場」を通して安心と安全、そして美味しさを届けたい。

〔 花かつみ農産加工グループ 代表 石澤 孝子さん 〕

今後の姿と
課題

アンテナショップ「逸品市場」では、農業に携わる生産者と、消費者のコミュニケーションの場として、互いに交流し距離を縮め、価値観を共有することで安全な食材の確保と、農業の振興を図って行きたいと考えています。

〔 (株)フードデザイン代表取締役 佐藤 英吉さん 〕

福島県県中農林事務所
企画部地域農林企画課
担当 岡崎さん

この事業は農産加工品を中心市街地で紹介・販売し、農業の振興を図ることを目的としていますが、中心市街地の活性化にもつながればと願いながら取り組んでいます。



《「開店日 多くのお客様ににぎわいました！」》



《「週末はイベントも開催しています！」》

米粉商品販路開拓事業（新潟県胎内市）

【事例紹介】 ~米粉のまち~
胎内市

ふるさと雇用再生
特別基金事業
(農林漁業分野)

新しく建設される第2工場が来年3月に操業開始予定です。地元で収穫された安心安全な米粉用米を原料とした米粉製品が生産されます。小麦粉の代替えとして注目されている米粉ですが、今後は更に消費者にPRし普及と販路拡大を図り、おおくのご家庭に食されることを期待しております。この事業の取組みにより、米粉製品の需要拡大につながり事業展開がなされ、基金終了後も雇用を継続できると期待しております。



新潟製粉株式会社
取締役工場長 藤井 義文さん

事業概要

新規需要米を原料として製造された米粉製品の普及拡大のための宣伝営業員と製造員の雇用

委託先

新潟製粉株式会社
新潟県胎内市近江新
従業員数 16人

新たな
雇用創出数

5人

事業費

約 1,147万円
(平成21年度)

事業の開始

平成21年7月~

業務内容

米粉製粉の普及拡大と販売・流通のための促進活動

商談会、食品関連のシンポジウム、イベントの参加

米粉の製造(1日2~3名体制・3交代制)

地域雇用失業情勢
(事業開始時点の有効求人倍率)

新潟県 0.44倍(季節調整値)
新発田管内 0.37倍(原数値)

今後の姿と課題

地元産の原料米を使用し、付加価値を高めた米粉製品の安定した供給により販路拡大を推進する。一方、消費者には米粉に対する認識が低いので、今後は米粉の普及のための宣伝等を実施し、販路拡大により地域の農業振興の活性化につながることであります。

(新潟製粉株式会社 取締役工場長 藤井さん)



米粉処理加工施設

採用された方々の職場



営業部門 山口 幸司さん



製造部門 相馬 友和さん

小麦にはない米粉の特徴をPRし、販路拡大により胎内市の農業振興につながるものと思います。がんばります。



製造部門 小林 兼人さん

新しい工場稼働に向けプラントの操作やフォークリフト等運転します。

米粉の水分調整を检查しております。

米粉パンはもちもちとした食感・しっとりなめらか食感が特徴です。



家庭用向けに製造している「きらゆき」300g ケーキ用とパン用・右隣は米粉パン

米粉製品



フレコンバック800kg



紙袋20kg

胎内市の取り組み

「米粉のまち」として、米粉を材料とした新たな商品(和洋菓子、料理)づくりを市民一丸となって取り組んでおります。



新工場完成イメージ図

ヤギ牧場経営並びに特産品開発事業【岐阜県関ヶ原町】

事例紹介

ふるさと雇用再生 特別基金事業

【農林漁業分野】

農業は国の基幹産業。典型的な中山間地である当町では高齢化が進み、耕作放棄地も増加しています。ヤギの飼育を行い、耕作放棄地対策（ヤギの貸出等）と特産品（アイスクリーム、ヨーグルト等）の開発を行いたい。

関ヶ原町長
浅井 健太郎さん

事業概要

統廃合で空いた北小学校を活用してヤギ牧場を運営する。特産品の開発検討を行い、ヤギ乳についてはアイスクリーム加工も視野に入れる。ヤギは耕作放棄地等への貸出業務も行う。

委託先

NPO法人
ビビッドタウン関ヶ原

新たな 雇用創出数

4人

事業費

約1,043万円（平成21年度）

事業の開始

平成21年5月～

業務内容

平成21年度

- 飼育施設の建設
- ヤギの飼育 飼育施設の清掃 餌・水やり
放牧作業 搾乳種付け 草刈

平成22年度

- アイスクリーム等 乳製品の開発
- 試験放牧

平成23年度

- 乳製品の販売
- 耕作放棄地等への放牧

岐阜県



地域雇用失業情勢

(事業開始時点の有効求人倍率)

岐阜県	0.45倍 (季節調整値)
大垣管内	0.32倍 (原数値)



《ヤギ牧場で飼育しているヤギ》

理事長の
あいさつ

町の事業で、受託したからには絶対に成功させなければいけない。みんなで協力して頑張してほしい。

やぎ乳を使った町の特
産品づくりに力を入れて
いきたい。

NPO法人
ビビッドタウン関ヶ原
理事長 桑原栄作さん



《事務所の開所式》

従業員の
みなさん

ヤギの飼育は初めての経験ではじめはうまくできるか不安で
いっぱいだったけど、今では、とっても可愛いです。よくなつて
自分の子供みたいです。

観光客に来て
もらえるように
がんばりたい。



桐山さん 松井さん 椎葉さん 高木さん

生き物が相手に
大変だろうけど
がんばりたい。



《ヤギの世話をしている従業員》

今後の姿と
課題

これからは、種付けの時期です。そして来春には出産が始まり、
搾乳もしなければなりません。飼育施設の拡充と搾乳・乳製品
の開発等と課題がいっぱいです。将来的にはヤギ乳を活用した
特産品を活用して、関ヶ原町を活性化していきたいです。

NPO法人
ビビッドタウン関ヶ原
理事 楠 達夫さん



《遊休農地での放牧風景》

中山間地域の新規就農・定住支援事業【愛知県豊田市】

事例紹介

ふるさと雇用再生 特別基金事業 【農業林業分野】

この事業は、安全安心な農業の発展と過疎化が進む中山間地域での定住の2つを目指しています。

有機無農薬にこだわったおいしい農作物を育て、都市部の皆さまにお届けしていきます。スタッフは共同生活をしながら、自然を相手に、只今奮闘中です。どうぞ応援してください。



株式会社 M-easy
取締役 竹内 匡史 さん

事業概要

過疎・高齢化が進む中山間地域において、定住を目的とした農業従事者の育成をし、安全安心な農業の確立及び過疎農山村再生の取組を実施する。

委託先

株式会社 M-easy
(本社:愛知県常滑市)

新たな 雇用創出数

11人

事業費

約2,824万円(平成21年度)

事業の開始

平成21年9月～

愛知県



地域雇用失業情勢
(事業開始時点の有効求人倍率)

愛知県 0.46倍(季節調整値(8月))
豊田ハローワーク管内 0.29(原数値(7月))

業務内容

- ・耕作者の高齢化により耕作が困難となった中山間地域の農地の耕作
- ・地域の農産物の買取移動販売業務

事業の特色

- ・都市部に住む若者が中山間地域に定住し、安全安心な農産物の生産及び地域の農産物を直接都市部住民に届ける流通ルートを形成し農業をなりわいとした持続可能な農山村の暮らしを実践する。
- ・高齢者の見守りや文化の継承など若者による地域の活性化を実践する。
- ・東京大学、豊田市、関係企業のサポートにより、日本の農山村の置かれた状況、社会的背景、消費者ニーズなど幅広い知識を習得する。



《安全安心な農産物をお届けします！》

スタッフのみなさんの声

中山間地域の小規模農地でも安全安心な農業にチャレンジすることにより、地域も元気になり、農業でも生計が立てられることを目指します。事業はまだ始まったばかり。試行錯誤の毎日です。



眞野さん

将来は、この安全安心野菜を使ったレストランを開ければと思っています。



伊藤さん

土地改良に使う竹炭を作るため、竹林での作業もあります。

レシピを付けてと試して貰えるかな



山田さん(左)、横山さん(右)

農業初心者です。毎日が勉強です。

土づくりのためのレンゲも植えよう

農学部出身です。学校では習わなかった事が沢山あります。

珍しい西洋野菜に挑戦してみようか



松尾さん

地域のイベントにも参加します。地域の方も声を掛けてくださいます。

今後の姿と課題

安全安心な農作物を作って、みなさんの元に届けることが使命です。農業をなりわいとした持続可能な農山村を目指すためにも販路拡大は大きな鍵です。アイデアを出し合い工夫を凝らしていきます。

〔 株式会社 M-easy 取締役 竹内 匡史 さん 〕

《多品種栽培を目指し、試験的にメンバーがそれぞれ好きな野菜を栽培するスペースもあります》



田んぼだった農地を畑にしました。小規模でも効率的に収益をあげる手段の一つです。

害虫対策に効果的という、ニンニクを各畝に植えつけるなど、無農薬に向けて知恵と工夫を凝らします。

地域との関わりの中で、日本の農山村で培われてきた「結いの心」や生きがいを再発見することもこの事業の目的のひとつです。



《地域の住民として小学校の運動会にも参加します。》

農業サポート人材対策事業(農産物直売所の運営)【京都府:京都市】

事例紹介

ふるさと雇用再生 特別基金事業 【農林漁業分野】

旬野菜を丁寧に作っている農家さんの思いをお客さんに届けたいと日々がんばっております。旬のものしか置かないので、いかにバランスよく多様な商品を並べお客さんに提供するか、売るだけでなく、生産農家さんとの調整も重要な仕事です。



農業生産法人 こと京都株式会社
代表取締役 山田敏之さん

事業概要

農家さんとの生産・仕入れの調整から直売所での販売まで、農産物直売所の運営全般に携わることを通じて、農業を幅広くサポートできる人材を育成する。

委託先

農業生産法人
こと京都株式会社
(本社:京都市伏見区)

新たな 雇用創出数

2人

事業費

548万円(平成21年度)

事業の開始

平成21年4月～

業務内容

- 農家さんのこだわり、価格の理由などを丁寧に説明しながらの直売所での販売。
- 直売所での売れ行きや商品のバランスなどを踏まえた農家さんとの生産・仕入れの調整、集荷。
- 生産者から消費者、消費者から生産者への双方のメッセージを伝達することにより、顧客満足度の向上と消費者ニーズにあった生産体制を構築。

京都府



地域雇用失業情勢 (事業開始時点の有効求人倍率)

京都市 0.64倍(原数値)
(京都西陣HWの有効求人倍率)



安全、新鮮な旬の野菜が満載!

新規雇用の
皆さん



須田俊一さん

農家さんごとにそれぞれのこだわりがあります。お客さんに農家さんの思いやこだわりが伝わるよう、丁寧に説明しています。



神田洋希さん

新しい旬の野菜が出てきたら、その野菜のおいしい食べ方を調べて、お客さんに紹介するようにしています。

次に来られたときに「おいしかったよ」といわれると嬉しいです。



マネージャー 中陳哲雄さん

マネージャー
の声

農産物の販売は、既製品を売る小売とは違った難しい面があるので、固定観念にとらわれない運営をしてもらいたい。常に向上心をもって、立派な人材に成長して欲しいと願っています。

お客様の声

生産者の顔が見られるということで、安心感があります。良心的でよいことですね。

野菜がとれたてで新鮮ということも魅力です。

今後の姿と
課題

雇用を継続するために、2店舗目、3店舗目と規模を拡大し、雇用者それぞれが店長となって立ち立ってもらうことを将来の姿として描いています。

そのためには、仕事に対するしっかりした意識を持ってもらうことが重要になるため、課題に対して自ら解決策を考え、実行できるようになるよう、工夫して指導しています。

農業生産法人
こと京都株式会社
代表取締役
山田敏之さん



接客も丁寧に

耕作放棄地防止対策(山羊による雑草対策)事業 【岡山県:新見市】

事例紹介

ふるさと雇用再生 特別基金事業 【農林漁業分野】

近年、農業従事者の高齢化、担い手の不足など、耕作地の荒廃は年々拡大しています。将来の食糧不足に備え耕作放棄地を保全していく必要があります。このため、雑草対策を省力化する方法として「山羊の放牧」による荒廃地の防止対策の試験・検証を行い、新たな事業が生み出されることを期待しております。



株式会社 きらり
代表取締役吉良一也さん

事業概要

山羊の飼育拡大と新しい試みの「荒廃地除草効果実験」にともなう雇用の創出を行う。また、山羊を核とした地域おこし、福祉、教育分野での情操教育、山羊の普及活動を行い、地域と共にあるオンリーワン事業活動を展開する。

委託先

株式会社 きらり
岡山県新見市
従業員数1人

新たな 雇用創出数

2人

事業費

2,141万円(平成21年度)

事業の開始

平成21年7月～

岡山県



地域雇用失業情勢
(事業開始時点の有効求人倍率)

岡山県 0.55倍(季節調整値)
新見管内 0.41倍(原数値)

業務内容

1. 山羊レンタル事業
荒廃地の雑草対策の一環として予防処置対応としての山羊レンタル事業を行う。
2. 山羊乳製品事業
地域業者と共同して山羊乳を使っつての人にやさしいスイーツ等を創出し、消費者の皆様方に提供する。
3. 山羊の飼育拡大事業
山羊の飼育拡大にともなう糞尿の堆肥を使用して野菜を作り、販売やイベント等に参加して山羊の普及活動を行う。



《強い味方、ともに働く二人です。》

従業員のみなさん

山羊は喋りません。少しの変化も見逃すわけにはいきません。でも教えてくれますよ。少しだけの乳、癒し等私達がもらうことに。より生きる大切さを教えてくれます。



定岡恵さん

山羊はとても人懐っこくて可愛いですよ。



後藤俊介さん

山羊は知れば知るほど奥深く可能性を秘めた動物ですよ。



《いよいよ山羊の放牧開始です》

お客さまからの声

- 久しぶりに山羊を見てふれあえて懐かしかった。
- 山羊のことについて子供が興味をもって話を聞いていた。
- 山羊乳販売数が少なく飲めず残念でした。



9月13日(日)に道の駅「鯉が窪」におけるイベントに協賛して「新米まつり&山羊まつり」を開催致しました。その時のお客様のアンケートからの声ですよ！！



《皆様方、メディアの関心も高いです》

今後の姿と課題

事業活動は、まだまだ課題があり定着化に向け進めてまいります。荒廃地防止対策における予防効果は得られました。このあと地の活用による物作り等雇用拡大の可能性もあり期待できます。



作業中の吉良一也さん

山羊乳製品の内製化、山羊の糞尿を利用した耕作放棄地における野菜づくり、共通の「人にやさしい」をキーワードに雇用拡大とオンリーワン事業を目指し進めてまいりたいと考えております。



《きれいに除草、山羊も大きくなりました》

広島こだわり野菜創出・普及促進事業【広島県】

事例紹介

ふるさと雇用再生 特別基金事業

【農林漁業分野】

広島県農業ジーンバンクは、平成元年に設立し、県内外の農業者、関係機関等から多くの品目・品種の種子を収集し、専用の貯蔵庫で保存管理しています。この度、品種の特性調査や増殖に取り組むことで、広く活用できる種子を整え、こだわり野菜の普及促進を図りたいと考えています。



事業概要

地域の伝統野菜の中から、特徴のある野菜の選定や種子の増殖を行い、有望品種を「広島こだわり野菜」として選定の上、栽培を希望する担い手農家への種子供給体制を整備し、普及促進を図る。



委託先

(財)広島県農林振興センター
(広島県広島市中区大手町)

新たな 雇用創出数

8人

事業費

約1,893万円
(平成21年度)

事業の開始

平成21年7月

地域雇用失業情勢
(事業開始時点の有効求人倍率)

広島県0.52倍(季節調整値)

業務内容

- ① 品種特性調査 品種の生育特性などを試験栽培により調査する。
- ② 品目・品種選定 テスト販売や実需者の意見を聴くなどして、有望な品種を選定する。
- ③ 種子増殖 選定された品種の種子増殖を行う。
- ④ 普及促進 普及品種のカタログやホームページの作成の上、関係機関と連携した普及活動を企画・実施する。



事業の背景と ねらい

(財)広島県農林振興センター(広島県農業ジーンバンク)には、全国各地で栽培されていた約5,000点の伝統野菜や豆類の種子が保存されている。この中から、商品性が高いと見込まれる野菜などを選定し、その種子を安定的に供給する体制を作ることで、こだわり野菜の普及促進を図る。

スタッフの みなさま



種子を選別中のスタッフの皆さん

種子の選別は神経を使う作業ですが、私たちが選別した種子を活用して、県内各地で沢山の「こだわり野菜」が栽培されることを願っています。

指導者の方 の声



(財)広島県農林振興センター嘱託技術員
船越 建明さん

伝統野菜の普及活動では、種子の配布だけではなく、野菜本来の姿や味がきちんと再現されるよう、品種に応じた栽培方法を伝承していきたい。

将来展望

地域の伝統野菜は、その土地・気象条件や食生活に適応して作られてきました。これらの再発見と普及促進によって、野菜の生産振興と地域の発展にも寄与するものと期待しています。

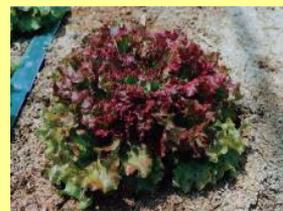
広島県農林水産局
農水産振興部農業技術課
技術振興グループ
主任技師 石田真由美さん



広島の伝統野菜



笹木三月子だいこん
ささきさんがつこ



矢賀ちしや
やが



青大きゅうり
あおだい



観音ねぎ
かんおん



温品ほうれんそう
ぬくしな

求職者等の雇用による地域農業活性化事業 【香川県】

事例紹介

ふるさと雇用再生 特別基金事業

【農林漁業分野】

地域雇用失業情勢
(事業開始時点の
有効求人倍率)
香川県0.74倍
(季節調整値)



事業概要

農業者の急激な減少や高齢化の進行を受け、魅力ある経営と多様な担い手づくりとして、新規就農の促進や女性の農業経営への参画を通じて地域農業の活性化を図る。

事業先

県内4団体

事業費

約34,000万円 (3年間)

新たな 雇用創出数

40人

事業の開始

平成21年4月～

香川県農業協同組合の声

既存の農業者の経営の安定に寄与するとともに、新規就農者の技術習得にもなるという本事業については、地域農業を振興する上でも非常に有効な事業となるのではないかと思い、取り組みを開始しました。

事業内容

担い手に対する農作業支援体制の確立

【委託先】 香川県農業協同組合 【新規雇用19名】

株式会社アグリハウナン

農作業支援センターを設立し、就農希望のある求職者を雇用し、オペレーターとして農作業支援を実施

先進的農業経営体の安定と多角化経営の確立

【委託先】 香川県農業協同組合 【新規雇用17名】

就農希望のあるIターン青年等を確保・雇用し、先進的な農業経営体へ派遣

Iターン青年等の確保活動の展開

【委託先】 財団法人香川農業振興公社 【新規雇用2名】

- ・かがわ就農、就業相談会の開催
- ・就農相談活動及び無料職業紹介
- ・求人のある農業法人等のデータベース整備
- ・Iターン青年等を受入可能な空家等のデータベース整備

農業女性の起業化支援業務

【委託先】 株式会社四国にぎわいネットワーク
【新規雇用2名】

- ・商品PRのためのイベント企画・運営
- ・アンテナショップの充実
- ・さぬきうまいまもんネットワーク販売活動支援、会員向け研修

担い手に対する農作業支援体制の確立

ブロッコリーの定植



自然が相手なので
大変なことも…。
穴吹 義信さん

この経験を活かし、将来
は自営農家を目指します。
泉 恭介さん

先進的農業経営体の安定と多角化経営の確立

ネギの収穫



人と協力して、
ものを作ること
に惹かれました。
重成 和也さん

植えた苗の成長が
楽しみです！
渡邊 道代さん

レタスの手入れ

Iターン青年等の確保活動の展開



就農相談

適切な助言に努め
て、新規就農の応
援をしたいと思います。
林 武雄さん



かがわ就農・就業相談会

農業女性の起業化支援業務

お歳暮企画販売検討会



たくさんの人に喜んでもら
えればなあ。長谷 勇武さん

多くの方々と接することで、
人間的にも成長できている
と実感しています。
岸下 倫子さん



さぬき女の春祭り

【今後の課題】

香川県農政水産部農業経営課
担当者の声

- ・良い人材の確保と雇用者自身のスキルアップ。
- ・生産者団体等との連携等や、関係機関との情報交換網の充実。
- ・農作業の閑繁期を問わず、年間を通じた雇用体制の確立。

事例紹介

ふるさと雇用再生
特別基金事業

【農林水産分野】

団塊の世代や団塊ジュニア世代、田舎暮らしを志向する都市住民を受け入れる施策を展開し、天草地域の人口減少への歯止めを図ること、また、増大する遊休農地を活用して自給自足的な田舎暮らしを都市住民に提供することによる農地の保全と農村の活性化を図ることを目的とした天草グリーンライフコミュニティ事業に取り組んでいます。

【熊本県天草市 位置図】



事業概要

天草グリーンライフコミュニティ事業の推進業務と天草市全域への事業拡大に向けた事業作成業務を実施する。

委託先

NPO法人
グリーンライフあまくさ

新たな
雇用創出数

1人

地域雇用失業情勢

(事業開始時点の有効求人倍率)

熊本県	0.36倍 (季節調整値)
天草管内	0.27倍 (原数値)

事業費

2,603千円 (平成21年度)

事業の開始

平成21年6月～

業務内容

移住定住・二地域居住希望者への相談対応及び体験ツアーなどの都市農村交流事業の実施・計画作成業務

短期滞在型体験施設“かねやき倶楽部”及び長期滞在型体験施設“ダーチャかねやき”の管理・運營業務

共同農場 (遊休農地を解消したほ場) の管理・運營業務



(新規スタッフ 出永さん)

移住定住、二地域居住といっても様々なケースが考えられます。まずは、天草市を知ってもらうため、天草市下浦町で“天草で暮らそう！体験ツアー”を実施。体験ツアー時には、遊休農地を解消した共同農場で農作業体験。宿泊には、長期・短期体験型体験施設を活用。希望者には、農家民泊を通じた天草暮らしも提供しています。（ホームページ <http://green-life.amakusa.jp/>）



農作業初体験の人にもサポートをします。



長期滞在型体験施設
“ダーチャかねやき”

波の音を聞きながら、都会の喧噪を忘れて、静夜をゆっくりお過ごしください。

日本の宝島“天草”の魅力を多くの人に知ってもらいたい。是非一度お越しください。

（新規スタッフ 出永さん）



共同農場からの眺望

山の頂上付近にある共同農場での作業風景。農作業の合間に海が一望できます。

今後の姿と課題

さまざまな問い合わせに対応できるように、まずは自分自身のスキルアップが必要です。受入地域との関係を密にして、正確な情報発信に努め、都市住民の受入体制を整備していきます。人口減少に歯止めがかかるように、このような活動が他の地域にも拡大していく事に期待します。
〈NPO法人 グリーンライフあまくさ 理事長 西山忠彦〉